

令和7年度 第2回安城市市民協働推進会議 議事要旨

日時	令和8年1月17日(土) 午後2時～午後4時30分	
場所	安城市民交流センター2階 多目的ホール	
出席者	委員	寺田会長、今永副会長、國見委員、萩野委員、細井委員、高良委員、西田委員、荒川委員、菊智委員、名倉委員、水野委員 (欠席：岩井委員)
	事務局	横手市民生活部長、早水市民生活部次長兼市民協働課長、竹内市民協働課課長補佐兼市民協働係長、市民協働係(杉浦、幸田、平野、島)
次第	1 市民憲章唱和 2 会長挨拶 3 議題 令和8年度安城市市民活動補助金交付申請事業 本審査 (公開プレゼンテーション) 4 その他	

今回の会議の目的

- ・令和8年度安城市市民活動補助金交付申請事業の採択決定について

議事要旨

(事務局)

皆様こんにちは。本日は週末のお忙しい中、市民活動補助金本審査(公開プレゼンテーション)にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

それでは会議に先立ちましてご出席委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。一般社団法人安城青年会議所青年会議所の理事長は1月1日に河原様から交代があり、細井様は今回初めての会議となります。

【出席委員自己紹介】

続きまして、本日の委員の出席状況についてご報告いたします。欠席のご連絡をいただいている委員の方は、岩井委員の1名となりますので、ただいまの出席委員は、安城市市民協働推進会議規則第3条第2項に規定します委員の半数以上に達しており、会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは、ただいまから令和8年度安城市市民活動補助金本審査を開始させていただきます。なおこの本審査は、令和7年度第2回安城市市民協働推進会議を兼ねておりますので、よろしくお願いたします。

ここからは、市民協働課課長補佐兼市民協働係長が進行を務めさせていただきます。

1 市民憲章唱和

(事務局)

皆様こんにちは。市民協働課課長補佐兼市民協働係長 竹内と申します。

それでは、次第1「市民憲章唱和」を行いますので、皆様、ご起立をお願いいたします。市民憲章は、スクリーンをご覧くださいますようお願いいたします。

【市民憲章唱和】

ありがとうございました。ご着席ください。

2 会長挨拶

続きまして、次第2「会長挨拶」 寺田会長からご挨拶をお願いいたします。

(会長)

皆様こんにちは。本日はお忙しい中ご参加ありがとうございます。

本日は令和8年度の安城市市民活動補助金の審査ということで、来年度に実施していただく市民活動補助制度の対象事業を決定するという大事な会議でございます。市民活動補助金は、市民の皆様からいただいた寄附と、その同額をマッチングギフトとして市から積み立てた市民協働推進基金が原資となっております。委員の皆様におかれましては、ぜひ公平公正な観点でご審査いただきたいと思います。

私自身も「安城を音楽があふれるまちに」という活動をやってきました。委員の皆様には、意欲的に活動しようとする補助金申請した団体を、応援する気持ちを持って温かい言葉でご審査・ご意見いただけたらと思います。

団体の皆様は日頃の活動の忙しい中大変な労力を使って審査書類を作られたことと思います。本日は4団体の発表があります。それぞれ5分の発表時間という短い時間ではありますが、事業のPRをしていただき、様々なところから取材が来るように頑張ってください。

簡単でございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

3 議題

令和8年度安城市市民活動補助金交付申請事業 本審査

(事務局)

市民活動補助金の概要についてご説明させていただきます。

【市民活動補助金の概要説明】

(事務局)

それでは、次第3「議題」令和8年度安城市市民活動補助金本審査、公開プレゼンテーションに移ります。まず、スケジュールと審査方法等につきまして、説明させていただきます。

【スケジュール・審査項目の説明】

(事務局)

何かご不明な点等はありませんでしたでしょうか。ございましたら、挙手をお願いいたします。

それでは、プログラム番号1番、市民提案型事業 ぐらびと様の「ぐらびと虹ゆるトーク会～当事者とともに語る、多様性と共生の場づくり～」について発表させていただきます。それでは発表をお願いします。

【ぐらびと 事業説明】

(事務局)

ありがとうございます。それでは、質疑応答に移ります。

ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。また、団体への応援等もございましたらお願いします。

(委員)

お疲れ様でした。LGBTという言葉自体は世の中でよく聞くようになってきましたが、まだまだ風当たりの厳しい世の中なので、助けを求められる場所、相談できる場所はとても必要だと思っていたので頑張っていたきたいです。そういう方は対面で人と話をすることへのハードルが高いので、オンラインや電話などの手段も考えていただけるとより良いのかなと思います。

(副会長)

先ほどの市役所との協働の話は、それだけで素晴らしい成果だと思っています。私自身、多様性という言葉やこの活動を周知していただいていることにとても価値があると思っています。その上でお聞きしたいのですが、このチラシを展開して広まっていくことに価値を感じてらっしゃるのか、居場所開催のときに来てもらって対応することに重きを置いているのか、あるいは両方かということ、皆さんの一番のねらいをお聞かせください。

(ぐらびと)

最初に言われた啓発については、市民協働課もチラシを学校に配るなど良い活動をされています。しかし、当事者の何かしてほしいという思いに対しての取り組みには

まだ至っていないように思います。そこを我々が担っていきたいと思っています。私たちは団体を立ち上げたばかりではありますが、究極の目標・目的としては、市ができないようなことの受け皿になっていけるよう、行政との協働による居場所づくりのためのステップとして今の活動を行っています。

(副会長)

良く理解できました。先ほどの市役所の話もそうですが、新しいチャレンジなので、やっ払いこうとすると衝突や反対などがあると思いますが、そのプロセス自体がとても価値のあることだと思ひます。取組みを推進されていくことを楽しみにしています。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。ぐらびと様、どうもありがとうございます。委員の皆様は、採点表のご記入をお願いします。

それではプログラム番号2番、行政協働型事業 特定非営利活動法人 link様の「野外活動アシスタント養成キャンプ」について発表していただきます。協働する課・団体は、学校教育課とゆうき少年団の皆さんです。それでは発表をお願いいたします。

【特定非営利活動法人 link 事業説明】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。

ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。また、団体への応援等もございましたらお願いします。

(委員)

私の子どもが先日、自然教室でキャンプファイヤーをしてとても嬉しように帰ってきました。良い経験ができる課外活動であると感じているので、とても賛同できる取組みであると思ひました。

1点気になった点があります。期待される効果として、将来の地域リーダーの育成を期待しているとのことですが、私自身、自社の経営をする中で日々その重要性を感じています。今回の申請事業のプログラムの中で、具体的にどのようにリーダーの育成につなげていこうと考えておられますでしょうか。

(特定非営利活動法人 link)

キャンプファイヤーの手伝いをする中で、子どもたちにとって少し先輩である私たちとの関係ができます。顔見知りになることで、地域の中で声をかけられることが増

え、斜めの関係の中で育っていくと考えています。

(委員)

縦横斜めの関係、非常に重要ですね。

(会長)

アシスタントの養成は素晴らしいですね。実は町内会で炊き出しや車中泊、テント宿泊訓練などをやりたいと思っていますが、ほとんどノウハウがありません。ぜひ、近隣の町内や公園でやっていただけると、ノウハウがたまっていくのではないかと思います。地域の住民にも必要なことだと思います。そちらも頑張ってくださいたいです。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。特定非営利活動法人 linkの皆様、どうもありがとうございました。それでは、ここで休憩とさせていただきます。

【休憩】

(事務局)

時間になりましたので、再開させていただきます。ここからは協働提案型事業の発表になります。プログラム番号3番 安城カルチュラタン様の「みんなでつくる映画製作」について発表していただきます。それでは、発表よろしくお願いいたします。

【安城カルチュラタン 事業説明】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移ります。

ご質問のある委員の方は、挙手をお願いします。また、団体への応援等もございましたらお願いします。

(会長)

発表ありがとうございます。10年前の市民映画「琥珀のような空」は、拝見しました。今回の映画の舞台はどこですか。

(安城カルチュラタン)

安城を中心に撮影しようと思っています。

(会長)

すでに台本などは出来上がっているのでしょうか。

(安城カルチェラタン)

脚本・監督は私がやります。

(会長)

ぜひ頑張ってください。

(安城カルチェラタン)

ありがとうございます。会長もぜひこの映画づくりに関わってください。

(副会長)

とても魅力的で、強い気持ちがとても伝わってきました。未来のことなので分からないかもしれませんが、この事業はかなりの派生効果、影響があると感じます。映画が完成した後、どのような姿を描けそうかなどのイメージは今の時点でありますでしょうか。

(安城カルチェラタン)

今回は映画をつくるために補助金を申請しましたが、次年度はこれを上映する補助金を申請したいと思っています。安城や様々なところで上映して、自分たちの作り上げた作品を人に見てもらい、様々なお話を聞けることによって、関わった人たちがまたそれぞれ成長していけると思います。私が10年前に関わった映画でも、プロの監督になった人がいますし、私自身もその時は一市民だったのが、プロデューサーになり、そして今度は自分の映画を撮ることになりました。他の方も夢やそれぞれの能力など隠されたものが発揮されていくことを私はとても楽しみにしています。安城の未来の担い手を作っていきたいと思っています。

(副会長)

イメージがわきました。安城の人が安城を中心にこのテーマで広げていきたいというイメージでしょうか。

(安城カルチェラタン)

そうです。募集自体は安城市民に限りませんので、広く募集していきたいと思えます。

(委員)

安城の文化を未来に繋げていきたいというところが、最終的な目的になってくると思います。端的に結構ですが、安城の文化とはどういったものを想像されているか

をお伺いしたいです。

(安城カルチェラタン)

あまり良いことではありませんが、安城は文化が希薄だと言われています。新見南吉さんは有名ですが、ほかにあまり目立ったものはありません。私は未来に安城の文化といえこれというものを作ってくれる人を育成したいという気持ちもあり、このプロジェクトを手がけています。現在、高校生や若い子たちも関わってくれていますが、その子たちが文化育成の担い手となり、将来、「安城って文化あふれるまちだよ」と言われるようになると嬉しいです。

(委員)

私も生まれも育ちも安城ですが、安城の文化が背景的に少ないことは感じております。新しい魅力等を作り発信していただけることはとても素晴らしいことだと思いますので、ぜひ進めていただきたいです。

(事務局)

それではお時間になりましたので質疑応答を終了させていただきます。安城カルチェラタンの皆様、どうもありがとうございました。

それでは、プログラム番号4番、一般社団法人安城市交響楽団様の「ジュニアオーケストラ第2回定期演奏会」について発表させていただきます。それでは発表をお願いいたします。

【一般社団法人 安城市交響楽団 事業説明】

(事務局)

ありがとうございました。それでは質疑応答に移ります。ご質問のある委員は挙手をお願いいたします。また団体への応援メッセージなどもございましたらお願いいたします。

(委員)

お話をお伺いして、非常に必要な事業だと思いました。平均年齢はどのぐらいかをお伺いしようと思いましたが、今写真で拝見すると多彩なメンバーなのかなと思います。そのあたりいかがでしょうか。

(一般社団法人 安城市交響楽団)

中学生ぐらいが中心です。小学生もとっかかりとして入る方はいますが、継続的に続ける子は少ないです。受け皿としては大学生まで受け入れています。

(委員)

楽器の修繕や管理など、お金がかかるとは思いますが、そのあたりはいかがですか。

(一般社団法人 安城市交響楽団)

現状こちらから貸し出せる備品はございませんので、基本的には楽器を持っていることが前提になっています。所属してる学校から顧問の許可を得て持ってくる子もいれば、もう既に自分で買って持っているという子もいます。運営をしている私たち側から見ても、よくこれだけの子どもたちが集まってくれていると思います。

(副会長)

この活動があることによって、子どもたちが学校での活躍や世の中に羽ばたいていくような派生的なものが、今後どのようになっていくと感じられていますでしょうか。

(一般社団法人 安城市交響楽団)

その点については、今日発表された皆さんと共通する部分はあると思いますが、やはりこれだけSNSやAIなどバーチャルリアリティが学校生活の中心にある中で、リアルに経験する感動体験や成果発表の場がとても重要であると学校の人間として思っています。必ずしも子どもたちに何年も活動し続けて欲しいということではなく、リアルな体験の機会として使ってもらえば良いと思っています。様々な子が入り出す中で、相乗効果が生まれていくと思っています。

(副会長)

どのようなきっかけで参加されているのでしょうか。口コミでしょうか。

(一般社団法人 安城市交響楽団)

口コミは多くあります。SNSも活用していますし、様々な場面でチラシを配布する機会が多くあります。これからは、安城市がチラシをメール等で保護者に配信するサービスなどを活用して、学校の先生のご理解をいただきながら関係性を築き、地域と学校が繋がっていけると良いと思っています。

(事務局)

以上で質疑応答を終了させていただきます。一般社団法人 安城市交響楽団様、どうもありがとうございました。

本日本日予定しておりました事業発表はこれで全て終了いたしました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございます。

冒頭の概要説明で申し上げましたとおり、本日の本審査結果につきましては、2月中旬に、申請団体の皆様に通知をさせていただきます。市公式ウェブサイトや広報あ

んじょうに掲載いたしますので、一般の方はそちらをご覧くださいませうよろしく
お願いいたします。

また、1点お知らせがございます。本日配布させていただきましたチラシをご覧ください。
「市民活動成果報告会&市民活動補助金相談会」というイベントを3月7日
に開催いたします。安城をより良くしたいという思いで、令和7年度市民活動補助金
を活用した団体の実績報告会を聞きに、また、今後補助金の申請を検討されている方
は相談をしにぜひご参加ください。

それではこの後、採択決定を行います。発表者の方、一般参加の皆様は、ご退出い
ただきますようよろしくお願ひいたします。

委員の皆様におかれましては、採点表を事務局にお渡しただいてから、休憩をと
っていただきたいと存じます。また、休憩中に、机を移動させていただきますのでご
承知おきください。20分後に、再開いたしますのでよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございます。本日の結果は市長に報告させていただき2月中旬をめどに、
委員の皆様と各団体に通知をさせていただく予定をしております。また、本日の資料
及び議事録につきましては市公式ウェブサイトへ掲載し、公表してまいりますのでよ
ろしくお願ひいたします。

これで次第3の議題を終了させていただきます。

4 その他

(事務局)

続きまして次第4「その他」として今後のスケジュールについてです。令和8年度
の第1回市民協働推進会議は7月頃に開催を予定しております。また後日通知を送付
させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

これで次第4「その他」につきましては以上となります。それでは最後に、次長か
らお礼のことばを述べさせていただきます。

(次長)

本日は長時間にわたり慎重な審査をしていただきまして、大変お疲れ様でございま
した。委員の皆様のご尽力のおかげで滞りなく、安城市市民活動補助金本審査を終了
することができました。以上をもちまして令和8年度安城市市民活動補助金本審査及
び令和7年度第2回安城市市民協働推進会議を終了いたします。本日はありがとうご
ざいました。

決定事項

- ・令和8年度市民活動補助金交付申請事業 全12事業 採択

対応事項

- ・ 制度自体の見直しの検討
- ・ 採点方法の検討（申請金額に応じた採点、また市の課題解決につながる採点項目の配点を高くするなど）